

# 行政報告

(令和元年第5回定例会【6月】提出)

安芸太田町

## 1 米軍低空飛行に関する取組みについて【総務課】

米軍の低空飛行については、県内で同じ課題を持つ廿日市市、三次市、北広島町、安芸太田町で副市長、副町長による4市町の情報交換を前年度に引き続き開催しています。また、令和2年度の広島県予算要望に「騒音測定装置」の設置に係る財政措置について新規要望事項としました。

また、平成30年度から本格運用が行われている役場屋上に設置された国の騒音測定器についても、数値として騒音が目に見える形になっています。なお、平成30年度に公開された測定値は、発生回数148件、騒音の大きさは、平均で80デシベルを超えている状況です。

町では、騒音測定での確認だけでなく、町民の皆さんからの情報提供のお願いを広報6月号及び町ホームページへ掲載し、情報収集を求めています。

◎ 安芸太田町戸河内における航空機騒音状況（平成30年度） ※70 dB以上のみ

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
最大値 dB (A)		86.8	82.9	86.8	76.3	86.2	88.1	83.8
平均値 dB (A)		80.8	75.7	79.8	73.2	80.7	79.6	77.4
騒音発生回数		13	22	25	5	9	9	18
時間帯	0:00～7:00	0	0	0	0	0	0	0
	7:00～19:00	12	17	25	4	9	9	17
	19:00～22:00	1	5	0	1	0	0	1
	22:00～0:00	0	0	0	0	0	0	0

項目		11月	12月	1月	2月	3月	年度
最大値 dB (A)		87.7	76.7	76.8	86.3	80.4	88.1
平均値 dB (A)		80.8	75.2	73.6	79.1	76.3	80.8
騒音発生回数		17	5	7	10	8	148
時間帯	0:00～7:00	0	0	0	0	0	0
	7:00～19:00	13	4	7	10	8	135
	19:00～22:00	4	1	0	0	0	13
	22:00～0:00	0	0	0	0	0	0

【参考】騒音の大きさの例（広島県ホームページより）

- 100 dB 電車が通るときのガードの下
- 90 dB 大声による独唱、騒々しい工場の中
- 80 dB 地下鉄の社内、ピアノの演奏（前方1 m）
- 70 dB 電話のベル、騒々しい事務所の中、騒々しい街頭

## 2 ふるさと納税の推進について【税務課外関係課】

平成30年度のふるさと納税の実績は、寄附件数6,488件（前年度比25.4%増）、寄附額6,197万円（前年度比16.8%増）、寄附内訳は、直接寄附が98件、440万円、インターネット経由が6,390件、5,757万円となり、インターネット受付が、92%を占めています。

また、地域別では、広島県内が632件の902万円、県外が5,856件の5,296万円と寄附額の85%が県外の方からの寄附となっています。

国は、平成30年度において、ふるさと納税制度の抜本の見直しを行い、新たな法律を令和元年6月から施行し、全国で4市町がふるさと納税制度から外れることとなりました。

安芸太田町は、4月に国に申請を行い、5月には、ふるさと納税可能自治体として指定を受けました。

今年度は、目標を7,000万円としており、目標達成に向けて、地域経済の活性化に向けて、町内の事業者の方々と協力して、新規お礼品の開拓等に取り組み、地域活性化を目指していきます。

また、平成30年度の「企業版ふるさと納税」については、県立加計高校支援プロジェクトに3社、220万円。特別名勝三段峡・太田川環境保全事業に1社、100万円の寄附実績となりました。

平成30年度の「ふるさと納税」各種指標は以下のとおりです。

① 平成30年度ふるさと納税額等 (単位：件・円)

年度	件数	ふるさと納税額	H29実績	備考
H30年度	98	4,402,000	3,528,000	直接寄附
	6,390	57,569,000	49,516,000	(株)さとふる
合計	6,488	61,971,000	53,044,000	

② ふるさと納税地域別状況 (単位：件・円)

区分	住所地	寄附者数	寄附金額	平均	H29年度	
					寄附者数	寄附金額
直接寄附	広島県内	60	2,730,000	45,500	45	1,908,000
	広島県外	38	1,672,000	44,000	30	1,620,000
	小計 ①	98	4,402,000	44,918	75	3,528,000
ネット寄附 (さとふる)	広島県内	572	6,286,000	10,990	371	4,322,000
	広島県外	5,818	51,283,000	8,815	4,726	45,194,000
	小計 ②	6,390	57,569,000	9,009	5,097	49,516,000
合計 ①+②		6,488	61,971,000		5,172	53,044,000

③ 企業版ふるさと納税 (単位：円)

プロジェクト名	事業内容	事業費 寄附額	寄附企業
県立加計高校支援 プロジェクト	総合支援事業外3事業	14,559,703	3社
		2,200,000	
特別名勝三段峡・太 田川環境保全事業	三段峡トイレ整備調査事業	1,458,000	1社
		1,000,000	

④ 平成30年度お礼品の状況(上位10位まで)

No.	お礼品名	出荷数	取扱い事業者
1	鯛焼き	2,901	鯛焼屋よしお (内10個入り2,625件)
2	見浦牛	905	見浦牧場ミートセンター
3	戸河内ウイスキー	629	地域商社あきおおた (8年270件含む)
4	ヒノキまな板	597	太田川森林組合ぬくい工芸センター
5	コヒカリ・ヒルカリ食べ比べ	463	百姓屋
6	杵つき餅セット	176	つなみ和の里生産組合
7	天然はちみつ「百花蜜」	120	地域商社あきおおた

8	新鮮朝採れほうれんそう	111	穴ファーム OKI
9	新鮮朝採れいちご	101	百姓屋
10	井仁の棚田米	89	小笠原 元治

### 3 税務行政の推進について【税務課】

平成 31 年度の税制改正においては、10 月から予定されている消費税引き上げに伴い、需要変動の平準化対策として改正が行われ、本町もこれに伴い町税条例の改正を行い、専決処分を行いました。

主な改正は、軽自動車税では、グリーン化特例の軽減適用期間の延長、町県民税では、住宅ローン控除の適用期間の延長です。

平成 30 年分の税申告を 2 月 15 日から町内 20 会場に出向き 1,874 件の申告を受付け、この申告に基づき令和元年度分の町県民税の賦課作業を終え、5 月中旬から 6 月中旬にかけて納税通知書を順次発送しています。

国民健康保険税については、保険税の課税限度額の見直し及び軽減措置の判定基準となる金額の見直し、そして県下統一に伴う保険税率の引き上げがあり、条例改正を行いました。

### 4 自治振興会連絡協議会について【地域づくり課】

町内 48 の自治振興会による連絡協議会代表者会議を 4 月 24 日（水）に開催し、町の施策予算や重点施策ポイントなどの説明等を行い、各自治振興会へ事前に要望事項などについて提出いただいた事項について町の対応方針などの説明を行いました。

また、町が今年度から地域コミュニティの在り方検討に取り組みを開始する内容について説明しました。

後日に代表者会議で詳細な説明のため、3 回の支部会を開催し、地域コミュニティの在り方検討会と地域懇談会の開催、空き家実態調査の依頼などについて、地域への情報提供を行いました。

今後開催する地域懇談会での意見交換の議題などについて協議し、6 月～7 月に開催することとしています。

### 5 地域おこし協力隊について【地域づくり課】

平成 31 年 3 月末で 3 年間の任期を満了した隊員 6 人は、引き続き安芸太田町に定住し、起業や就職し活動に取り組んでいます。

また、4 月から、新たに 2 人の協力隊員を採用し、NPO 法人やまおこしの会と（株）百姓屋に所属し、農林業を中心とした活動を開始しています。

また、昨年度採用した 3 人の協力隊員も引き続き地域に根ざした活動を引き続き展開しています。今後独自の視点で地域活動へ期待をしています。現在 5 人が 4 つの分野で活動しており、今後も町内に定住が叶うよう支援をしていきます。

## 6 保育所・こども園当初状況について（児童育成課）

平成31年度当初の、保育所、こども園の入所状況はつぎのとおりです。

（平成31年4月1日現在）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
修道保育所	0	1	0	2	3	4	10
加計認定こども園あさひ	0	5	11	9	13	12	50
認定こども園とごうち	1	5	9	18	10	16	59
筒賀保育所	0	2	3	2	5	5	17
合計(人)	1	13	23	31	31	37	136

今年度は、昨年度当初と比較して22人の減少となり、年度当初において定員を超える施設はありません。減少のうち0, 1, 2歳児が16人の減となっています。

今後は0, 1歳児を中心に新規入園者見込みがあり、スムーズな受け入れを引き続き行っていきます。

また5月に入り、各施設で保護者会との共催で春の遠足を実施しました。

また、「筒賀保育所」は19日に筒賀小学校と合同で、「認定こども園とごうち」では26日に単独で、運動会が行われ、保護者、地域の方々に園児の元気いっぱいな姿を見ていただき、子どもの成長を実感いただいています。

今後も各保育所・こども園の連携をより密にし、乳幼児の保育・教育環境の充実を図ります。

## 7 第二次長期総合計画における後期基本計画の策定について（企画課）

第二次長期総合計画における前期基本計画が、令和元年度で終期を迎えることから、令和2年度から令和6年度の5年間の基本計画の策定を進めています。

本年2月に実施した住民アンケート調査は、1,185人の方から回答をいただき、回収率は39.7%になりました。また、5月には町内の中学生を対象にしたアンケート調査も実施しました。

これらのアンケート調査を分析し、計画策定に反映させてまいります。

5月31日には、第2回目となる長期総合計画審議会を開催し、アンケート調査の報告と、計画策定における施策検討の方向について提案を行い、各委員から意見をいただきました。

今後、庁内策定ワーキング会議や、町民対象のワークショップ等を重ね、計画策定の取組みを進めていきます。

## 8 広島県立加計高校支援について【企画課】

加計高校では、平成31年度の新入生が40人と定員数を確保することが出来ました。

平成30年度の入学試験においては、県外からの生徒4人を確保することができ、全国公募の成果が徐々に上がっています。

平成30年度には、川・森・文化・交流センター4階を全面的に生徒寮として整備するとともに、全室個室化を実施しました。

今後も、「公営塾、生徒寮、クラブ活動支援、教育支援等」を推進し、安定的に定員120人を確保し、加計高校の活性化を図って行きます。

また、平成30年度卒業生においては、国公立大学進学者も8人となり、教育支援の成果も上がっています。

次年度以降、国においても、加計高校が実践している、教育プログラムと同様の方向性で、全国の普通科制度の見直しを図る方向性となっています。

(平成31年4月1日現在:生徒数)

区 分	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計高校	40	32	28	100
うち寮生	9	7	3	19

## 9 ひろしま「山の日」県民の集い森カフェinあきおおたについて【産業振興課】

今年で6回目を迎える、ひろしま「山の日」県民の集い森カフェinあきおおたを6月2日(日)に深入山グリーンシャワーで開催しました。

当日は、約600人の参加があり、セラピー体験や森林ヨガなど森林セラピー基地の特色を生かした森の癒しメニューのほか、木工教室やシイタケ菌打ちなど、山に親しみ、森林林業の理解を深める体験を行いました。

「山の日」は、平成28年から8月11日を国民の祝日として制定されていますが、広島県では6月第一日曜日を「山の日」と定め、県下一斉に地域の特色を生かしたイベントとして開催しています。

今後も、本町の魅力ある自然環境と森林林業の理解を深めるイベントとして、広く意見を取り入れながら進めていきます。

## 10 やまゆり健診について【健康づくり課】

本年度山ゆり健診を、5月21日の修道会場を皮切りに加計会場、戸河内会場、筒賀会場の順に30日まで7日間の日程で巡回実施しました。

この健診は、健康増進法や高齢者医療確保法等に基づいた各種保険加入者の「特定健康診査」と「がん検診」や「歯科検診」を合わせた内容で、生活習慣病の早期発見、早期治療を目的として実施しています。

受診者数は次のとおりで、全体的に減少傾向となっており、会場によっては受診者数の減少により実施が困難な会場もあり、より多くの方に受診の呼びかけを行うとともに、会場の再編も視野に入れて対応しなくてはならない状況です。

＝山ゆり健診会場別・年度別受診者数＝

会場	区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	合計
戸河内	実施日数	3	3	3	3	2	2	2	2	20
	受診者数	427	451	430	357	328	307	281	306	2,887
	一日平均	142	150	143	119	164	154	141	153	144
筒 賀	実施日数	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	受診者数	134	179	173	162	175	127	163	129	1,242
	一日平均	134	179	173	162	175	127	163	129	155
加 計	実施日数	3	3	3	3	3	3	3	3	24
	受診者数	520	515	525	513	496	483	455	425	3,932
	一日平均	173	172	175	171	165	161	152	142	164
修 道	実施日数	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	受診者数	108	128	124	100	102	81	84	78	805
	一日平均	108	128	124	100	102	81	84	78	101
合 計	実施日数	8	8	8	8	7	7	7	7	60

受診者数	1,189	1,273	1,252	1,132	1,101	998	983	938	8,866
一日平均	149	159	157	142	157	143	140	134	148

また、本町では、健康のまち宣言において、「自らの健康は自ら守る」の意識を深め、進んで健康診査を受けますと謳っており、町民の方々により多くの健診機会を提供するため、山ゆり健診（集団健診）のほか、個別健診として、人間ドック健診、働き盛り応援健診も実施し、健診受診率の向上を図っています。

なお、特定健康診査の結果から、生活習慣病予防のため内臓脂肪型肥満に着目した保健指導を必要とする人を抽出し、運動を中心とした特定保健指導を行い、糖尿病等の予備群の減少、また、重症化予防の取組みを行っていきます。

## 11 あきおおた地域応援ウォークについて 【健康づくり課】

昨年度からより実施している「あきおおた地域応援ウォーク」を、本年度も6月より実施します。

昨年度は、231人の参加者を得、一日6,000歩を目標に実施しましたが、6月から11月の半年間において、一日も欠かさず6,000歩以上歩かれた方が40人以上おられ、目標を達成したところです。

多くの方々が日常生活において無意識のうちに「歩く」という行動を行っていますが、これに少し運動の要素を取り入れ、健康のために意識的に歩くという習慣をより多くの方々に身に付けていただくことを目標に、昨年度と同様に実施していきます。

## 12 ヘルスツーリズム事業について【商工観光課・地域商社関係】

ヘルスツーリズム事業は、今年度で8年目を迎えています。

安芸太田町の魅力や自然を沢山の方に体感していただき、民泊家庭や地域の方との心の交流を通じて、安芸太田町ファンの拡大を目指しています。また、民泊家庭で構成される受入協力会も2年目となり、受入家庭の開拓・新規加入や体験メニューの共有、情報交換会や研修会など、住民主導型としての官民協働体制が構築されています。

人情田舎体験事業（教育旅行）の4月以降の実績及び6月の予定は、次の表のとおりとなっています。

No.	学校名	参加人数(引率者は含まず)	受入日程
1	唐津市立鏡中学校	ラフティング体験及び民泊 116人	5月15日(水) ～17日(金)
2	八尾市立高美中学校	ラフティング体験及び民泊 129人	5月18日(土) ～19日(日)
3	唐津市立西唐津中学校	ラフティング体験 62人(湯来町民泊)	5月22日(水)
4	泉大津市立東陽中学校	被爆体験講話及び民泊 289人(北広島町合同)	5月23日(水) ～24日(金)
5	羽曳野市立高鷲南中学校	民泊 129人	5月29日(水) ～30日(木)
6	海老名市立柏ヶ谷中学校	民泊 予定252人(北広島町合同)	6月7日(金) ～9日(日)
7	大阪市立東住吉中学校	日帰り選択別体験	6月12日(水)

		予定196人	
8	大阪市立新北島中学校	民泊 予定139人	6月13日(木) ～14日(金)
合 計 8校		1,312人(うち町内1,059人)	

次に、森林セラピー事業については、4月以降5月末までの実績は、14回のセラピー体験を行い、262人の参加を得ています。企業関係が4件・サークルや学校関係が1件・個人参加が9件で、昨年同時期に比べ281人減となっています。

また、教育旅行の選択別体験メニューの一部として組み入れて、半日の三段峡トレッキングを1件実施しました。生徒達の反応は、本町の豊かな自然に対して深く興味を持っていただき、大変好評でした。

### 13 頑張るビジネス応援補助金事業について【商工観光課】

頑張るビジネス応援補助金については、5月末現在、起業化促進事業の交付決定が2件、相談を受けている案件が5件あります。

相談案件の内訳は、新分野進出事業が4件と起業化促進事業が1件となっています。

この補助金事業は、町内の商工事業者の活力を生むと同時に、商工会の会員数の増加にもつながる事業となっており、事業によっては、道の駅等での土産品やふるさと納税お礼品などとして、新たな特産品開発に繋がる分野が起業されることも期待しています。

前年度までの補助事業者45件に対するアフターフォローとして、各種研修会や講習会の参加誘導など、商工会と連携して引き続き経営指導をしていきます。

### 14 深入山グリーンシャワーの運営状況について【商工観光課】

4月から直営で管理しているグリーンシャワーについては、10連休の後半が好天であったことから、沢山のお客さんが来られました。4月～5月末まで、施設使用料を含む管理棟売店での売り上げは、約150万円となっています。

山焼きが実施されたこと、また登山道入口周辺や国道上のエリアの雑木を伐倒したことから、山菜採りに訪れるお客様が多く、現在では新緑が山を覆い始めています。

### 15 配食サービス事業について（福祉課）

配食サービス事業を公益社団法人青年海外協力協会 JOCA×3（じょか かけさん）に事業委託して1年以上が経過しました。

この間、配食サービスの利用可能日を最大で週5日に変更するとともに、昨年までと同様に利用者宅を訪問して食事をお渡しし、安否確認を行っています。

平成30年度の実績は、次のとおりです。

#### ① 利用登録者等

項 目	人 数 等	
	H30年度の1月平均	H31年4月
利用登録者数	93人	84人
実利用者数	77.4人	80人
新規利用開始者数	6.1人	5人
利用廃止者数	5人	0人

利用者平均年齢	84.0 歳	84.3 歳
配食数	987.2 食	1,163 食
1 日平均配食数	46.2 食	52.9 食
利用頻度別実利用者数		
週 1 回	8.3 人	7 人
週 2 回	19.2 人	13 人
週 3 回	19.2 人	16 人
週 4 回	5.1 人	10 人
週 5 回	25.7 人	34 人
介護度別実利用者数		
要介護 1～5	32.9 人	38 人
自立～要支援	44.5 人	42 人
安否確認率	71.2%	77.6%

現在、週 5 日利用者が約 40%を占めるようになり、毎月増加してきています。

今後も、訪問による食事の提供と安否確認をとおして、自立した在宅生活の支援と低栄養状態の予防・改善に取り組んでいきます。

また、配食サービスの利用可能日について、週 6 日又は毎日の利用を希望する方が多いことから、今後は提供日の拡大についても、事業者と協議・検討していきます。

## 16 旧山県郡西部衛生組合のごみ処理施設等解体工事について【衛生対策室】

この解体工事については、5 月 14 日（火）に『ポックルくろだお』で開催された「黒峠処理施設関係公害防止委員会定例会」で担当課より平成 30 年度事業経過報告、し尿・ごみ処理の状況報告の後、担当課及び施工業者、施工監理業者より解体工事の進捗状況、今後の工程などを資料説明等により報告をしました。

解体工事の進捗状況は、ほぼ行程通り、順調に進んでおり、6 月末には、施設解体作業は、ほぼ終了する見込です。

地元地域の澄合、坂根地区におきましても解体工事の進捗状況等について、公害防止委員会定例会において報告の後、中間報告書により地域内回覧を通じて報告をしました。

関係皆様のご協力により残り僅かの工事期間になりましたが、安全、安心を目指し、地元地区、公害防止委員会、議会等、更なるご理解、ご協力を得ながら引き続き解体工事を進めていきます。

## 17 学校教育活動について【学校教育課】

4 月 8 日、9 日に町内の幼稚園・小中学校では入園・入学式が開催され、幼稚園児 3 人、小学生 36 人、中学生 32 人が入園・入学しました。

(平成 31 年 4 月 1 日現在 児童生徒数)

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計(人)
加計小学校	19	15	18	15	20	18	105
筒賀小学校	10	7	8	6	5	4	40
上殿小学校	2	4	3	9	4	3	25
戸河内小学校	5	6	7	5	3	7	33
合計(人)	36	32	36	35	32	32	203

	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計中学校	17	22	24	63
安芸太田中学校	15	9	13	37
合計(人)	32	31	37	100

	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
戸河内幼稚園	0	4	1	

小中学校とも「特別の教科 道徳」が始まり、教科書による指導がスタートしました。また、来年度、小学校高学年の「外国語科」が教科として導入されることに伴い、その準備段階として教員の研修やALTの活用の充実などに取り組んでいます。

今年度は県の事業を受け、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研究を児童育成課と連携して取組みを進めています。また、昨年度整備したICT機器を活用しプログラミング教育など新しい学びの実施や職員研修、東京大学と連携した協調学習の推進など、主体的な学びの取組みを進めていきます。

## 18 安芸太田病院の医療提供体制等について【病院事業】

安芸太田病院では内科医師1人と整形外科医師1人の交代がありましたが、外科医師が1人減となり、常勤医師7人体制で運営することとなりました。

今年度の内科医師の派遣は、3月18日に広島市、広島市立病院機構と安芸太田町で地域医療体制の確保に向けた連携協定を締結した結果によるものです。

安佐市民病院に広島県北西部地域医療連携センターを設置し、広島県の奨学金を受けたふるさと枠医師を安芸太田病院へ派遣することにより医師不足を解消することになりました。

さらに内科外来と当直の支援を受け、救急医療の確保と常勤医師の負担軽減につながっています。

今年度採用した医療スタッフは医師を含めて8人で、患者様に気持ちよくご利用いただけるようにサービスの改善に努め、安心と信頼が得られる病院を目指します。